

谷田部一之市議会議長の「家族の戦争体験」

紙芝居、私も感動しました。狛江で生まれて、狛江で育って61年です。狛江第1小学校の出身。152周年を迎えています。東京都で小学校が1500校ぐらいある中で、9番目に古い学校。いかに狛江は学問のまちかと。私も狛江第1小学校にお世話になり、息子もお世話になりました。父は養子ですので、母が狛江第1小学校で育ちまして、祖父も第1小学校、私を含めて親子4代、この狛江第1小学校にお世話になったという事。

私の母が85歳、昭和15年1月7日生まれ。私の生まれは銀行町で、谷田部お米屋さん、知ってる方いますか？ありがとうございます。三多摩では老舗で、私の生まれたところは丁稚、何とか屋とつくところは、スーパーがなかったの、各地方から丁稚奉公として働いて、自分の田舎に帰る。私が生まれたところは、20人ぐらい丁稚奉公さんが居て、誰に育てられてか分からない感じでした。今はそんなことは無いが、米屋さんに修行に来ている人が多かった。場所は狛江の三叉路で銀行町と呼ばれた中心街。バス停が狛江銀座なので、なぜといわれる方も多いのですが、昔は銀行もあるし、食べ物・飲み屋、全てのものが狛江銀座に来るとある、一番盛んなところ。当時、戦時中です、母にも色々聞いた。今のグランド・メゾン、セントラル・ハイツさんは東京航空計器といって、飛行機の計器を造っていた。当時のゼロ戦ですよ、米軍は計器を造っているところは分かっていたので、二度と作らせないようにと上から爆弾を落とす。今と違って、今はピンポイントで狙ったところに、1cm-2cmも変わらずに落ちるが、昔は上空から落とすので間違って落とすと。それで、今の和泉本町・元和泉辺りは爆弾が結構、間違って落ちてきちゃったということを母から聞いています。小田急線は昭和2年にできたので、線路から南側はほとんど爆弾は落とされていないのですが、どうしても小田急線から北側は間違って落とすという事で、被害が大きかったけど、住んでいる銀行町の方は被害が少なかったと聞いています。ただ、世田谷通りと狛江通りの三叉路なので、先ほどの紙芝居でGHQ、戦争が終わってジープが通ったという話ですが、三叉路を曲がってアメリカ兵が行くので、住まいが三叉路だったので母は9歳ぐらいで、怖かった、と。急に曲がるので、時々アメリカ兵もおっこちゃう人がいる、助けようとしてもアメリカ兵怖いから、助けられないけど、急カーブを曲がる時、怖かったと言っていました。その時から小学校へ通っていましたので、野球、ベースボール、これまで言えなかった、アウト、セーフ、審判はアンパイアと言いなさいとか、ファールとか片言の英語も学校で習わされたというよりは皆さんと一緒に覚えたと言っていました。

戦争は二度と起こしたくないし、母の父、私から祖父ですね、戦争には行けなかった。身長が足りなかった。徴兵令があり、身長が一定以上ないとダメで、家業をすることに。祖父の友だちはみんな戦争に行った。祖父の弟もいる。一緒に米屋の仕事をやっていましたが、弟は身体も大きく、召集令があつて、全員で鉢巻き掛けて、狛江三叉路で戦争に送り出しました。弟は最後の召集命令のあった時で、カンボジアに行っていたが、二日ぐらいで戻ってきました。戦争で亡くなったということは無く、戻ってきてまたお米屋をしました。遺族会がありますが、私の家に限ってはそういうことは無く、お米屋さんなので、戦時中は食べられなかったの、帰ってきた時はおいしいお米が食べたいという事で、お赤飯を一杯たいて食べました、良く覚えていると母は言っています。

戦争は今、色々なところでやっていますが、本当に無くしていかなくتهはいけないし、

いろんな人に迷惑が掛かることは間違いないので、ロシアとウクライナ、またいろいろ
なところで起きていること、早く、停戦させて、平和な世界を築くのが私たちの願う事
なので、戦争を無くしますようによろしく願いいたします。